

〔教育委員会 中央図書館 所管〕

10040501 図書館運営管理事業

決算書P. 423

【財源内訳】

(単位: 千円)

	平成30年度	令和元年度	差	主な名称
事業費	187,634	100,407	△ 87,227	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他	31,641	30,130	△ 1,511	教育文化振興基金繰入金(ふるさと納税)
一般財源	155,993	70,277	△ 85,716	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

市民の文化教養の向上を目指し、自由で公平な資料提供を中心とする図書館活動により、文化の発展に資する。

【今年度の取組】

司書率は76.5%と前年度を大幅に上回り、各種研修会にも積極的に参加し、職員の専門性を高めることに努めた。

貸出点数において、前年度比99%と若干下回ったが、イベント等の実施においては、平成30年度に実施した内容全てを実施したことに加え、新たなイベントを多数開催した。また、おはなしボランティア養成講座を開催し、新規ボランティアの養成に努めるとともに、既存ボランティアのスキルアップを図るため、おはなしボランティア育成講座を開催した。更に、「本の修理体験会」「やさしい手話講座」「写真展」「パネル展」をボランティアや市民団体と協働で開催し、活動の成果を図書館利用者に還元していただくことができた。

【指標】

指標名	単位	平成26年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度
		(基準値)	(実績)	(実績)	(目標値)
市民一人当たり蔵書数 (蔵書総数÷人口数)	点/人	6.6	6.9	6.9	6.6
蔵書回転数(貸出総数÷蔵書総数)	回/点	2.0	2.1	2.2	2.0

【成果の動向】

中央公民館図書室が1年間休室しており、全館合計の貸出点数が前年度比99%とやや下回った。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、3月4日から館内全座席の利用を中止したため、3月の来館者数が昨年同月比77.6%までに落ち込むとともに、3月に予定していたイベントをすべて中止したが、利用数値、実施事業において平成30年度に劣らない実績となった。

【今後の事業の方向性】

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による部分開館及び完全休館の影響により、年間の各種利用実績が減少する見込みであるが、防止対策を講じた上で、これまで同様のサービスを継続するとともに、電子サービスの拡充にも努める。



中央図書館



中央図書館内(一般フロア)

【財源内訳】

(単位: 千円)

	平成30年度	令和元年度	差	主な名称
事業費		16,978	16,978	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源		16,978	16,978	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

令和元年度から実施される学校教育改革プランに基づく「中央図書館と学校図書館による学校図書館の充実」を図るため、読書センター・学習センター・情報センターとしての機能の充実に対する支援を行う。

【今年度の取組】

学校図書館システムの更新年度でもあったため、スムーズに作業できるよう学校司書の研修を行うと同時に、学校司書間の交流を深めるため情報交換の場を設けた。

学校図書館運営のサポートを積極的に行い、各校の状況に合わせた助言を適宜行った。また、学校への団体貸出・ブックトークの取組により、学校図書館の貸出数増加を図った。

また、指導室と協力し、学校の教職員対象に、学校図書館の活動内容や、中央図書館と学校図書館との連携を目的とした研修を行った。

【指標】

指標名	単位	平成26年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度
		(基準値)	(実績)	(実績)	(目標値)
貸出点数	点	123,965	136,735	162,665	150,000

【成果の動向】

学校図書館の貸出数は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による休校のため、3月の貸出ができなかったが、昨年度と比べ118.9%増加した。団体貸出の冊数は平成30年度は1,777冊に対し、令和元年度は2,247冊となり126.4%増加。ブックトークは平成30年度は実施日数7日、実施回数11回に対し、令和元年度は実施日数15日、実施回数25回と、回数・日数共に倍以上の伸びを見せた。これらは学校司書に対する研修や助言、これに伴う学校及び学校司書の取組により向上した結果と言える。

【今後の事業の方向性】

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による休校の影響や、学校再開以降も学校図書室の使用や貸出に感染症防止策が講じられることが予想され、結果貸出数の減少が見込まれる。しかしながら、児童生徒向けに行っていたイベントの内容や開催方法を再検討した上で継続していくとともに、ブックトーク・団体貸出等の学習支援についても依頼に対応できる体制の強化を図る。



学校図書館との連携研修



団体貸出 小学校での展示例